平成27・28年度売上額及び入場者比較表

（単位：円、人、％）

月	売上額						入場者数			
	28年度実績 A		27年度実績 B		27年度との比較		28年度実績 D	27年度実績 E	27年度との比較	
					増減額 A-B＝C	比率 C／B			増減数 D－E＝F	比率 F／E
4	SG 1,458,551,000	日数 8	345,141,500	日数 4	1,113,409,500	322.6	23,278	9,414	13,864	147.3
5	1,597,175,200	12	880,390,500	9	716,784,700	81.4	23,437	24,233	△ 796	△ 3.3
6	788,915,000	10	GⅡ 1,055,264,200	8	△ 266,349,200	△ 25.2	6,449	19,495	△ 13,046	△ 66.9
7	GⅠ 1,419,093,200	11	942,036,200	9	477,057,000	50.6	20,420	20,867	△ 447	△ 2.1
8	974,152,100	11	GⅠ 1,607,875,100	12	△ 633,723,000	△ 39.4	12,241	33,907	△ 21,666	△ 63.9
9	特GⅠ 1,599,310,200	11	395,763,100	4	1,203,547,100	304.1	21,075	6,829	14,246	208.6
10	670,177,600	9	666,297,700	7	3,879,900	0.6	10,001	16,465	△ 6,464	△ 39.3
11	GⅠ 1,199,184,100	9	452,154,600	6	747,029,500	165.2	17,732	5,687	12,045	211.8
12	637,608,800	7	683,165,100	8	△ 45,556,300	△ 6.7	14,589	16,781	△ 2,192	△ 13.1
1	GⅡ 1,169,420,800	8	GⅠ 1,315,598,000	7	△ 146,177,200	△ 11.1	22,879	19,819	3,060	15.4
2	1,082,493,900	8	SG 1,982,228,200	9	△ 899,734,300	△ 45.4	17,589	28,333	△ 10,744	△ 37.9
3	1,084,133,300	10	418,057,400	4	666,075,900	159.3	13,577	5,357	8,220	153.4
合計	13,680,215,200	114	10,743,971,600	87	2,936,243,600	27.3	203,267	207,187	△ 3,920	△ 1.9
1日平均	120,001,900		123,493,900		△ 3,492,000	△ 2.8	2,309	2,466	△ 157	△ 6.4

（※ ○ 一日平均売上額 … 下2桁四捨五入 ○ ％ … 小数点以下第2位四捨五入）

※開催日数にはミッドナイトの日数26日を含む。（ただし、本場入場者数1日平均を算出する算出する際には含まず。）

※平成28年9月開催ミッドナイトは、落雷のため1日中止。

第33期選手候補生のロッカー所在場内定

配属先	氏名	性別	年齢	本籍地	備考
川口	泉田 修佑(いずみだ しゅうすけ)	男	20	長野	
	稲川 聖也(いながわ せいや)	男	20	東京	
	黒川 京介(くろかわ きょうすけ)	男	18	千葉	
伊勢崎	伊藤 正真(いとう しょうま)	男	25	群馬	父：伊藤正司選手(伊勢崎20期)
	髙橋 絵莉子(たかはし えりこ)	女	21	埼玉	全日本モトクロス選手権 レディースクラス 年間ランキング4位(2014年)
	田崎 萌(たさき もえ)	女	23	埼玉	
浜松	落合 巧(おちあい たくみ)	男	20	静岡	
	金田 悠伽(かねだ はるか)	女	22	静岡	
	花田 一輝(はなだ かずき)	男	18	静岡	
	交川 陽子(まじかわ ようこ)	女	28	大阪	特例　世界サンボ選手権大会 女子48kg級 7位(2014年)
飯塚	稲原 瑞穂(いなはら みずほ)	女	21	山口	叔父：稲原良太郎選手(山陽28期)
	木山 優輝(きやま ゆうき)	男	18	福岡	
	堂免 沙弥(どうめん さや)	女	24	福岡	
	中村 杏亮(なかむら きょうすけ)	男	21	福岡	
	吉川 麻季(よしかわ まき)	女	21	大分	
	吉松 優輝(よしまつ ゆうき)	男	22	山口	父：吉松憲治選手(山陽21期)
山陽	青木 隆浩(あおき たかひろ)	男	26	岡山	
	佐伯 拓実(さえき たくみ)	男	24	山口	
	角 翔太郎(すみ しょうたろう)	男	21	山口	
	山本 将之(やまもと まさゆき)	男	26	福岡	

※　高橋絵莉子・花田一輝・交川陽子候補生は養成訓練中の怪我により卒業及び選手登録が遅れます。

３．専用場外発売所の開設について

「オートレース成田」概要について

① 名　称　　「オートレース成田」

② 場　所　　千葉県山武郡芝山町岩山１４１１番地
（車で成田空港より約１５分）
サテライト成田内

③ 設置者　　株式会社ガードワン

④ 管理施行者　伊勢崎市

⑤ 座席数　　３５３席（オートレース・競輪共用）

⑥ 窓口数　　６窓
（内訳）自動発払窓口４窓、有人窓口２窓

⑦ 発売日数　　年間３４０日程度を予定

⑧ オープン日　平成２９年５月３１日（水）

４．ＣＳ(コミュニティーセンター)シアター棟改修工事完成について

① 工事概要　　内装、外装、空調機器取替、システム工事等

② 工事期間　　平成２９年３月１日～平成２９年６月２８日

③ オープン予定日　　平成２９年６月３０日（金）

④ 屋内店舗数　　食堂及び３店舗予定

⑤ 設置装置

【既存】

「２Ｆ設置内容」

自動発払機２台、自動投票機１台、

【新規】

「１Ｆ設置内容」

窓口機１台、自動発払機４台、自動投票機３台、

チャージ精算機１台、投票用端末１台

「２Ｆ設置内容」

窓口機１台、自動発払機４台、自動投票機１台、

現金チャージ機１台、投票用端末２台

経 済 建 設 委 員 会 資 料
平成２９年６月２１日提出

平成２９年度　飯塚市新技術・新製品開発補助金　採択事業一覧

	補助事業者名	事　業　名	事　業　概　要
1	有限会社ＴＲＩＡＲＴ	環境に合わせたセキュリティ運用が可能で且つ高セキュリティなシステム研究開発	ＰＣに接続するデバイス（ＵＳＢ、フラッシュメモリー、スマートフォン等）やネットワークの制御・監視を行い、多種多様な原因で起こる情報漏洩を防止するシステムを開発する。
2	みそやのラボラトリィ	味噌をベースとした筑豊地区の農作物を使ったジェラート、スムージーの開発	発酵食品であり、独特の甘みをもつ「味噌」を主役とし、老若男女が好み、筑豊の食材（米・梅・葡萄・無農薬野菜・日本酒など）を使用したジェラート、スムージーを開発する。

平成２９年度　飯塚市販路開拓支援補助金　採択事業一覧

	補助事業者名	事　業　名	事　業　概　要
1	タカハ機工株式会社	無磁型自己保存ソレノイドを使用した電気錠ユニット（開かないんだな）の販路開拓	業界初の新型ソレノイドである「無磁型自己保存ソレノイド」を使用し、認知症患者のいる家庭や施設における冷蔵庫の電気錠として販路開拓を図る。
2	株式会社ラムロック	画像認識技術を用いたカメラ「みまもりＣＵＢＥ」の販路開拓	高齢者の危険な状態を自動で発見することができる機能（カメラ・スピーカー・サーバー・ルーター等）を１つにした「みまもりＣＵＢＥ」の販路開拓を図る。
3	株式会社レイドリクス	デジタル無線通信システム実装検証ボードの販路開拓	無線ＬＡＮや各種デジタル無線通信・放送システムのプロトタイピングができる実装検証用FPGAボードとRFモジュールの販路開拓を図る。

経済建設委員会資料

平成29年6月21日提出

飯塚市中小企業振興円卓会議設置規則

（趣旨）

第１条　この規則は、飯塚市中小企業基本条例（平成 28 年飯塚市条例第 15 号。以下「条例」という。）第 12 条の規定に基づき設置する飯塚市中小企業振興円卓会議（以下「円卓会議」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（所掌事務）

第２条　円卓会議は、次に掲げる事項を所掌するものとする。

(1)　中小企業振興施策の推進に関する審議、調査及び研究に関すること。

(2)　振興施策の提案及び検証に関すること。

(3)　前２号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項に関すること。

（組織）

第３条　円卓会議は、条例第 12 条第１項に定める者のうちから、市長が選任する委員 15 人以内をもって組織する。

（任期）

第４条　委員の任期は２年とする。ただし、再任を妨げない。

2　委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第５条　円卓会議に委員長及び副委員長各１人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2　委員長は円卓会議を総理し、委員会を代表する。

3　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第６条　円卓会議の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2　会議は、委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。

3　会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

4　委員長が必要と認めるときは、委員以外の者に対して会議への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

（小委員会）

第 7 条　条例第 12 条第 3 項に規定する小委員会の委員は、円卓会議において選出する。

2　小委員会は、委員長が必要と認めるときに招集する。

3　小委員会は、その設置目的が達成されたときに、解散するものとする。

（会議の公開）

第 8 条　会議は、公開とする。ただし、飯塚市情報公開条例（平成 18 年飯塚市条例第 10 号）第 8 条各号の規定に該当する場合は、当該会議の全部又は一部を公開しないことができる。

（庶務）

第 9 条　円卓会議の庶務は、経済部産学振興課、商工観光課及び農林振興課において処理する。

（補則）

第 10 条　この規則に定めるもののほか、円卓会議の組織及び運営に関し必要な事項は、委員長が円卓会議に諮って定める。

附　則

この規則は、公布の日から施行する。

地方創生人材育成・定着促進事業（地方創生事業）

経済建設委員会資料
平成29年6月21日提出

背　景

嘉飯桂地域（飯塚市、嘉麻市、桂川町）における通勤通学流動状況では**約5,800人の流出超過**となっており、就職・進学に伴い多くが地域外へ流出。同地域に立地する3大学では、入学する大学生の**8割以上が地域外から流入**しているが、卒業・就職とともに**9割以上が地域外へ流出。**

その要因として、中高生については、地方において最先端の教育を受ける機会が少なく、**都会との教育格差**が生じていること等が考えられる。大学生については、地元志向があっても**学んだ技術が活かせる首都圏等の最先端企業**への就職を優先するケースもみられる。

一方、首都圏や大都市に一極集中し、慢性的な人材不足を抱える最先端企業等では、**地方にサテライトオフィス**を設け人材育成を図る動きが全国でみられ、本地域にも優秀な学生を求め進出してきている。

こうした地域若者の人材流出を防ぎ地域定着を促進するためには、地方においても**最先端の教育**を受けられる環境づくりと**最先端技術を活用した魅力ある仕事**を創出する必要がある。

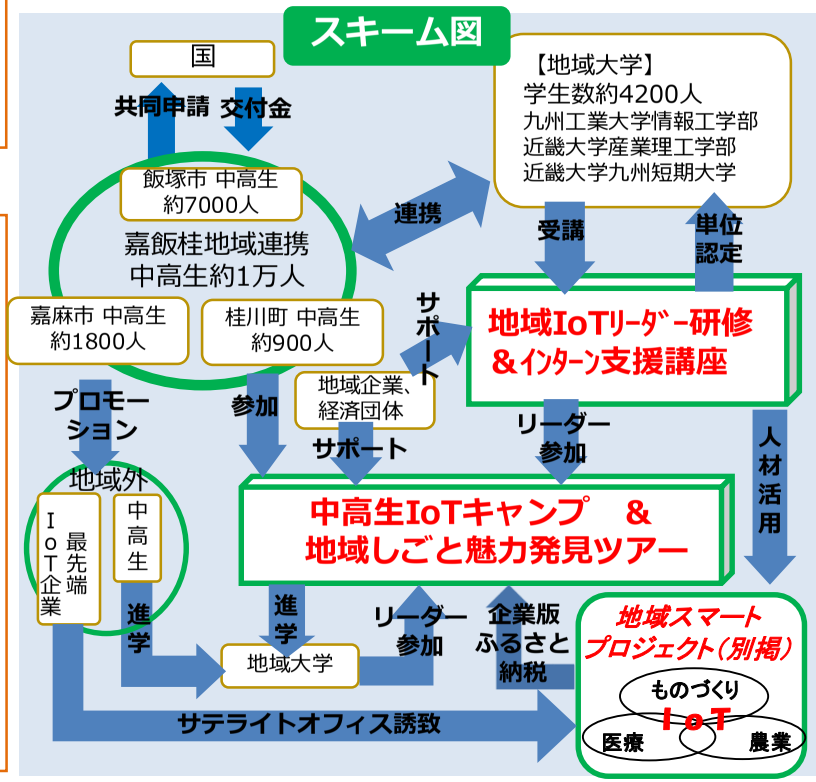
事業概要

地域の大学生に対し、中高生の講師となれる最先端技術やコミュニケーション能力を学ぶ研修（20人×年2回）を実施する。当該研修等を通じて**地域リーダー（3年間で100人以上）**を育成する。

次に、地域リーダーである大学生から中高生が先端技術を学ぶ**中高生ITプログラミングキャンプ（50人×年3回）**を実施する。受講した中高生をフォローし、次の世代につなぐリーダーに成長することを促し、最先端人材の地域内育成エコシステムを構築する。

加えて、人材等の地域の強みを活かした効果的なシティプロモーション等を行い、**最先端IT企業等のサテライトオフィスを誘致（3年間で5社以上）**するとともに、誘致企業と地域企業と融合を図る嘉飯桂IoTラボを立上げ、ものづくり・医療・農業などの**地域スマートプロジェクトを創出（3年間で5件以上）**する。

スキーム図



飯塚市　嘉麻市　桂川町　Life is Tech!

経済建設委員会資料
平成 29 年 6 月 21 日提出

初心者歓迎！

飯塚市・嘉麻市・桂川町地方創生推進交付金事業

飯塚市・嘉麻市・桂川町の中学生・高校生のための プログラミング体験会

開催日程

7/2（日）午前の回 09:00～12:00
午後の回 13:30～16:30

申込期間
5/31(水)17:00～
6/19(月)17:00 まで

ゲーム
プログラミング

Web デザイン

アプリ
プログラミング

飯塚市・嘉麻市・桂川町では、IT 産業の次代を担い、未来を切り開く能力を備えた優秀な人材を育成するため、プログラミング体験会を開催します。
体験会では、技術力の高い大学生スタッフがサポートします。
コースは左記 3 コースよりお好きなコースをご選択いただけます。
初めての仲間とも仲良くなれる遊びやゲームが盛りだくさんのプログラムで、おひとりでの参加も安心です。パソコンはこちらでご用意いたしますので、お気軽にご参加ください。今話題のプログラミングを体験し、皆さんの可能性を広げてみませんか？

参加対象

飯塚市・嘉麻市・桂川町在住
または市内町内の学校に在学する
中学生・高校生

定員

午前
午後　各回 **50** 名

※お申込者多数の場合は、
抽選となります。

開催場所

飯塚市役所
多目的ホール2F

Life is Tech! って？

延べ21,000人の中学生と高校生が参加した
国内No.1のプログラミング、ゲーム、デザインなどの
最先端ITの技術を短期集中型で学ぶプログラムです!

イベント申込は以下の手順でお願いします。

手順①　飯塚市のホームページを検索
https://www.city.iizuka.lg.jp/
手順②　ホームページ内の注目情報の
「プログラミング体験会」へ アクセス
手順③　アクセス先のページより申込

こちらからも
お申込いただけます↓

お問い合わせ

飯塚市 経済部 産学振興課
〒820-8501 福岡県飯塚市新立岩 5-5
☎：0948(22)5518（受付時間：平日 8:30～17:00）
MAIL：sangaku@city.iizuka.lg.jp

締切：6/19(月)

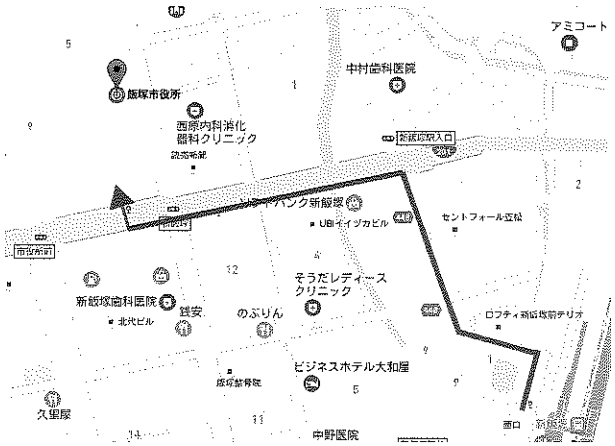
飯塚市・嘉麻市・桂川町プログラミング体験会 スケジュール概要

日程・場所

7/2(日) 午前の回09:00～12:00(8:50集合)
午後の回13:30～16:30(13:20集合)

場所：飯塚市役所 多目的ホール 2F

住所：〒820-8501 福岡県飯塚市新立岩5-5
新飯塚駅より徒歩 3 分



当日スケジュール

[午前の回]
08:50 集合
09:00 オープニング・自己紹介
09:30 アクティビティ
10:00 開発・共有会
12:00 エンディング・解散

[午後の回]
13:20 集合
13:30 オープニング・自己紹介
14:00 アクティビティ
14:30 開発・共有会
16:30 エンディング・解散

スケジュールは予定であり、前後する可能性があります。

お申し込み

手順① 飯塚市のホームページ **https://www.city.iizuka.lg.jp/** を検索
手順② ホームページ内の注目情報の「プログラミング体験会」へアクセス
手順③ アクセス先のページより申込
申込締切 6 月 19 日 (月)17:00

お申込者多数の場合は、抽選となりますので、予めご了承下さい。

【インターネットでのアクセスが難しい方へ】
表面のお問合せ先「飯塚市産学振興課」まで
電話もしくはメールにてご連絡ください
(受付時間 平日 8:30～17:00)
送迎は原則保護者の方にお願いしております。
保護者様でのご対応が難しい場合に限り、各市町にて対応致します。
お申込時にその旨必ずご記入下さい。

参加費

無料

持ち物

・飲み物
・USB メモリ (2GB 以上)
※データを持ち帰りたい方のみ
※パソコンはこちらでご用意致します

参加対象

飯塚市・嘉麻市・桂川町在住または
市内・町内の学校に在学する中学生・高校生

定員

午前・午後各回 50 名

保護者の方へ

プログラミングなど IT でのものづくりが初めてのお子様でもご参加いただけます。これまでの参加者延べ 21,000 人のうち約 8 割が初心者からはじめています。5～6 人のグループに 1 人、インストラクターとなる大学生がついてサポートしますので、中学生から高校生まで、ひとりひとりの進捗や技術力に合わせて進めることができます。ただ IT のスキルを学ぶだけでなく、チームでのアクティビティなど、仲間との絆を深める時間を通して、心に残る経験をお届けします。

【主催】飯塚市・嘉麻市・桂川町【企画・運営】ライフイズテック株式会社

経済建設委員会資料
平成29年6月21日提出

	外観目視による判定	数量（戸）
1	居住可能な問題のない空家（A判定）	1,127
2	改修すれば居住可能な空家（B判定）	954
3	居住不能または大改修が必要な空家（C判定）	991
4	敷地内へ立ち入り出来ない等の理由で判定不可能な空家	414
空家等の総数		3,486

※建物位置・距離等により確認不可、敷地内への立ち入りが不可能であった為、上記「空家等の総数」とは別に、空家判定が必要な建築物が63戸ある。

コンパクト・プラス・ネットワークのモデル都市一覧

国土交通省

番号	ブロック	市区町村名	都道府県	人口（H27国調）	立地適正化計画公表日	誘導区域の設定状況			重点テーマ
						都市機能	居住	市街化区域等の面積に占める割合	
①	東北	弘前市	青森県	177,411	H29.3.31	○	○	69%	・雪対策 ・地域公共交通 ・都市再生・中心市街地活性化 ・ＰＲＥ活用・ＰＦＩ
②	東北	鶴岡市	山形県	129,652	H29.4.1	○	○	40%	・住宅（空き地・空き家対策） ・産業振興（ベンチャー）
③	北陸	見附市	新潟県	40,608	H29.3.31	○	× （H30年度）	未確定	・地域公共交通 ・医療・福祉
④	北陸	金沢市	石川県	465,699	H29.3.31	○	○	43%	・地域公共交通 ・都市再生・中心市街地活性化
⑤	中部	岐阜市	岐阜県	406,735	H29.3.31	○	○	57%	・地域公共交通 ・医療・福祉
⑥	近畿	大東市	大阪府	123,217	H29.10	○	○	作業中	・子育て ・公共施設再編 ・住宅
⑦	近畿	和歌山市	和歌山県	364,154	H29.3.1	○	× （H29年度）	未確定	・都市再生・中心市街地活性化 ・学校・教育
⑧	中国	周南市	山口県	144,842	H29.3.30	○	× （H30年度）	未確定	・都市再生・中心市街地活性化
⑨	九州	飯塚市	福岡県	129,146	H29.4.1	○	○	51%	・都市再生・中心市街地活性化 ・医療・福祉
⑩	九州	熊本市	熊本県	740,822	H28.4.1	○	○	55%	・地域公共交通 ・都市再生・中心市街地活性化

福岡県飯塚市：人口約12．9万人（H27）↘約11．9万人（H38）

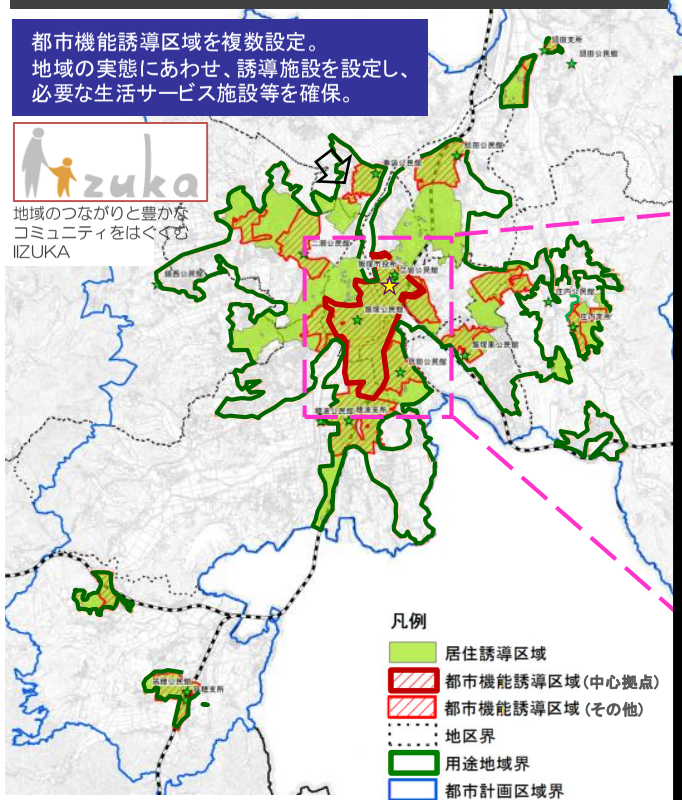
国土交通省

（地域公共交通網形成計画）平成28年9月公表
（立地適正化計画）平成29年4月1日公表

現行の用途地域の **51%** に居住誘導区域を限定し、人口減少トレンドの中、密度を確保

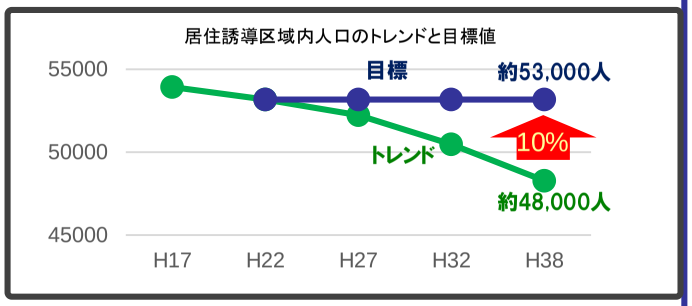
都市機能誘導区域を複数設定。
地域の実態にあわせ、誘導施設を設定し、必要な生活サービス施設等を確保。

地域のつながりと豊かなコミュニティをはぐくむ IIZUKA



１０年間、居住誘導区域内の人口を維持し、

推計値から、**約10%** の人口増を実現



まちなかでの先行的な取組の効果を全市的に波及

まちなか居住の推進

まちなかの福祉サービス向上による居住の推進

○まちなかの住宅供給
再開発（ﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙ等）や区画整理（子育てプラザ等）などにより、151戸の住宅を誘致

医療・福祉の拠点づくり

医師会の協力により実現

○医療施設・学校のまちなか移転
・急患センター
・看護学校、訪問看護ステーション

地域包括ケアの拠点

福祉サービスの生産性向上

■訪問系福祉事業者及び居住者をまちなか誘導し、福祉ｻｰﾋﾞｽの生産性を、

約13% 向上

居住誘導区域内の高齢者人口密度が、区域外の約10倍となることから、訪問時の移動時間の短縮分を試算 ※①

健康寿命の延伸

福岡大学スポーツ科学部との連携

○ウォーキングコース整備
○ジム整備、健康教室の開催による歩行量増

ウォーキングイベントの参加人口の拡大
1,000人（H25） → 3,000人（H30） ※いいづか健幸都市基本計画

○撤退したﾃﾞﾊﾟｰﾄをｺﾐｭﾆﾃｨ機能の拠点として建替。運動施設や障害児福祉機能導入（健幸プラザ）

㈱まちづくり飯塚が事業実施
（100%民間出資のまちづくり会社）
※事業費約7億円

歩行量増加による医療費の削減

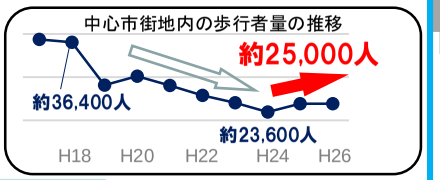
■まちなかから、全市的に歩行量の増加を波及させ、

約8．4億円 の医療費を削減

40歳～74歳の3割が一日当たり2,000歩増を想定
医療費削減効果から試算 ※②

まちなかの賑わい創出

○市庁舎建替
：現在地(中心拠点)で建替を実施

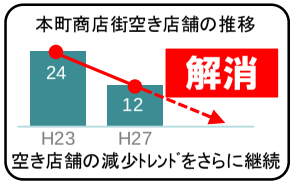


○商店街の空き店舗を活用
シルバー人材センターによる飲食店経営等

○飯塚本町東地区
商業機能、子育て拠点等導入

まちなかの空き店舗の解消

■まちなか居住の促進や、多様な集客施設の集積により、空き店舗を解消



※①② 国土交通省試算

車両破損事故現場見取図

経済建設委員会資料
平成29年6月21日提出

1. 事故発生日時　平成29年5月18日（木）午後1時時30分頃
2. 事故発生場所　飯塚市川津（市道　菰田幸袋1号線）
3. 事故の概要　当事者の車が菰田・幸袋1号線（九州工業大学付近）を北に向かって走行中、川津緑道の木の枝の一部が強風により地面に落下し、よけきれず車体(フロントバンパー)に損傷を与えたもの。

工 事 請 負 変 更 契 約 報 告 書（都市建設部農業土木課）

周辺農業施設不明

経済建設委員会資料

平成28年6月21日提出

	事業名	工　事　名	請負業者名	変更契約金額	変更増減額	原契約金額	落　札　率	変更契約工期	原契約工期
1	浸水	金池用排水路改良工事	松 尾 建 設（有）	64，104，480円 うち消費税 4，748，480円	4，192，560円 うち消費税 310，560円	59,911,920円 うち消費税 4,437,920円	85.20%	着　手　平成28年 8月24日 しゅん工　平成29年4月28日	着　手　平成28年 8月24日 しゅん工　平成29年3月15日

※主な変更理由

変更の理由として、開放型シールド工において地下埋設物の撤去に伴う増額と掘削土砂の含水比が高く処分場への運搬が困難なため、セメント系固化材によって改良したことによる増額、警察協議による交通誘導員の増員及び現地精測による増額変更。 また、工期を平成29年4月28日まで変更したものです。

経 済 建 設 委 員 会 資 料
平成 29 年 6 月 21 日提出

楽市水管橋損傷事故について

1　事故発生

日時　　平成 29 年 4 月 17 日（月）16 時 30 分頃

場所　　飯塚市楽市（楽市水管橋）

2　事故概要

楽市水管橋架け替え工事現場（国土交通省九州地方整備局遠賀川河川事務所発注）において、大雨による河川の増水により、クレーン車が転倒し、水管橋を損傷させた。その結果、楽市水源地から堀池浄水場への取水（450 t ／時）が不能となった。

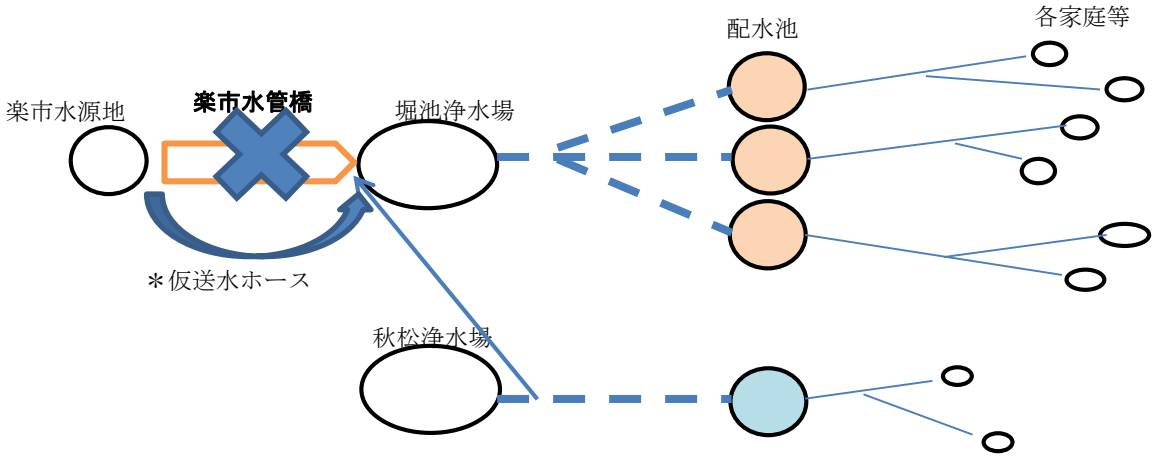
3　楽市水管橋損傷事故対策本部（対策本部長：企業管理者）

設置　4 月 18 日（火）9 時

解散　4 月 19 日（水）10 時 30 分

4　送水等の応急措置

堀池浄水場から送水している配水池 3 ヵ所（高雄・高雄高所・上高雄）について、応急で、秋松浄水場からも送水する措置（130 t ／時）を行い、18 日の 18 時頃まで配水可能とした。また、各家庭に対し、節水協力の呼びかけを行った。



18 日 22 時　工事現場において応急復旧工事（送水ホースの接続）が完了し、23 時過ぎ、高雄配水池から自然流下による配水を確認した。

5　給水活動

断水が想定された地域等　幸袋地区、二瀬地区、片島地区（約 9,500 世帯等）

① 給水車配置　　対象地域内 14 ヵ所（小中学校、地区公民館等）

＜給水車＞　企業局　9 台

日本水道協会福岡県支部より給水応援 18 台

＜配置期間＞　4 月 18 日　16 時～21 時、19 日　7 時～10 時 30 分

② 給水場所まで来ることが困難な方（高齢者・障がい者等）については、福祉部が個別に対応。

③ 人工透析を行っている病院（おおやぶクリニック、腎クリニック）には、別途給水車で対応。

④ 応援自治体　19 自治体（県内 12 市 4 町 1 企業団、相馬市、益城町）

⑤ 給水人数　4 月 18 日 347 人　19 日 3 人　計 350 人

6　断水状況

断水したとの情報が寄せられた件数　　2 件

断水等についての問い合わせ件数　　約 1,600 件

赤水等の苦情　　なし

平成29年4月17日 16:10

平成29年4月17日 16:20

平成29年4月17日 16:30

工事請負契約報告書(企業局企業管理課)

経済建設委員会資料
平成29年6月21日 提出

工　事　名	予定価格(A)	落札額(B)	落札率(B/A) (小数点第三位以下切捨)	契約者名	入札日
鎮西中学校区小中一貫校 汚水管渠新設(2工区)工事	96,140,520 円 うち消費税 7,121,520 円	85,843,800 円 うち消費税 6,358,800 円	89.28 %	(株)小山産業	5月15日
契約年月日 平成29年5月19日	最低制限価格(変動型)				
工　期 平成29年5月20日 から 平成30年1月31日 まで	85,843,800 円 うち消費税 6,358,800 円				

入札参加業者名(条件付き一般競争入札)

(株)前田組	(有)小川土木工業	柴田建設工業(株)	(株)あさひ産業	(有)松本建興
(株)伍栄建設	(有)荻原建設	(株)小山産業	(株)多田組	(有)ダイオー建設
(株)川端組	岩永建設(有)	下川建設(株)		

＊地方自治法施行令第167条の9によるくじ引きの結果(13者)

工事請負契約報告書(企業局企業管理課)

経済建設委員会資料
平成29年6月21日 提出

工　事　名	予定価格(A)	落札額(B)	落札率(B/A) (小数点第三位以下切捨)	契約者名	入札日
馬敷配水池築造工事	511,963,200 円 うち消費税 37,923,200 円	459,332,640 円 うち消費税 34,024,640 円	89.71 %	小川・荻原 特定建設工事 共同企業体	6月5日
契約年月日 平成29年6月12日	最低制限価格				
工　期 平成29年6月13日 から 平成31年3月15日 まで	459,332,640 円 うち消費税 34,024,640 円				

入札参加業者名(条件付き一般競争入札)

サカヒラ・修成 特定建設工事共同企業体	小川・荻原 特定建設工事共同企業体	柴田・前田 特定建設工事共同企業体	あさひ・伍栄 特定建設工事共同企業体	松本・竹中 特定建設工事共同企業体

＊地方自治法施行令第167条の9によるくじ引きの結果(5者)

経済建設委員会資料
平成29年6月21日提出

飯塚市と近畿大学との包括連携に関する協定書

飯塚市（以下「甲」という。）と近畿大学（以下「乙」という。）は、相互の発展に資するため、次のとおり包括連携協定を締結する。

（目的）

第１条　本協定は、甲と乙が包括的な連携のもと、相互に協力し、地域の様々な課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展及び人材育成に寄与することを目的とする。

（連携協力事項）

第２条　甲と乙は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項について連携、協力する。

（１）コミュニティ活動・地域の活性化に関すること
（２）ひとづくり・人材育成に関すること
（３）観光振興及び産業振興など地域経済の発展に関すること
（４）環境の保全及び防犯・防災対策の推進に関すること
（５）保健・医療・福祉の向上に関すること
（６）教育・文化の振興、生涯学習の推進に関すること
（７）国際化・国際交流の推進に関すること
（８）学術の調査・研究に関すること
（９）地方創生に関すること
（１０）その他必要と認める事項

２　前項各号において連携協力を推進するにあたり、その方策等については、必要に応じて別途定める。

（秘密情報）

第３条　甲と乙は、本協定に基づく活動により、相手方から知り得た情報については、それぞれ秘密情報として保持する。ただし、事前に相手方の承諾を得た場合は、この限りではない。

（有効期間）

第４条　本協定書の有効期間は、協定締結の日から平成３０年３月３１日までとする。ただし、有効期間満了の１か月前までに、甲又は乙のいずれの側からも別段の申し出がない場合は、引き続き１年間効力が延長されるものとし、以後も同様とする。

２　前項の規定にかかわらず、甲又は乙から書面による本協定の解消の申し出があり、両者の合意があった場合は、解消するものとする。

（協議）

第５条　本協定書に定めのない事項又は疑義が生じた事項については、甲と乙は誠意をもって協議のうえ決定するものとする。

２　本協定の締結を証するため、協定書２通を作成し、甲、乙それぞれ署名のうえ各１通を保管する。

平成２９年４月２６日

甲　福岡県飯塚市新立岩５番５号
飯塚市長　片峯　誠

乙　大阪府東大阪市小若江３丁目４番１号
近畿大学
学長　塩塚　均